

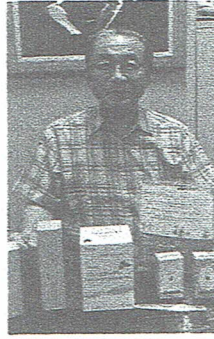
加齢

2019 11月号
創刊82周年

「ACTIVITY」 活躍する県人

コラーゲンの体内助成機能

健康補助食品相次ぎ商品化
友杉名誉教授の
金沢医科大ベンチャー



友杉重久氏

同大発のベンチャー企業「エムシープロット・バイオテクノロジー」で商品化した。

友杉氏は金大医学部を卒業後、英国王立大学院大ハンマ

ーミス病院に留学した腎臓

内科学の専門家で、1994

年に金沢医科大に入り、06年に鉄分の回転を制御するタンパク質である血中ペプシジンの測定法を世界に先駆けて開

発した健康補助食品を開発、コラーゲンを体内で摂取しやすい「プロテオミクス」を生かしてコラーゲンを体内で摂取しやすい健康補助食品を開発

発、臨床に応用した。

同年に教授に昇格。エムシ

ープロットを設立、社長になり、翌年、石川県臓器移植推

進財団理事に就任、15年から同大名譽教授・総合医学研究

所プロジェクト研究センター

寄付部門・天然変性蛋白質創薬科学研究部に所属。

17年から糖尿病など腎機能が低下した患者に最適な治療法を人工知能で探るシステム

開発やコラーゲントリペプチドの抗動脈硬化効能の解明に

取り組み

ている。

医療ジ
ヤーナリ
スト藤野
邦夫氏

(小松市出身)から治療中の患者でも安心して関節痛を緩和するコラーゲンを摂取できないかとの相談を受け、14年に「ヒロ・コラーゲン」Ⅱ写真Ⅱを開発した。

ヒロ・コラーゲンは魚由来の低分子「トリペプチド」やクルクミンを含み、体内に吸収されやすいのが特徴。藤野氏の親族が設立した「かえでプランニング」(東京・TEL 0120-966-757)で販売している。

スキンケアシオンなど化粧品にも応用し商品化しているが、今年7月から同病院内で栄養機能食品「エミティジ・ファクト」の販売を始めた。

善玉菌の活動に必要なオリ

ゴ糖や食物繊維、新陳代謝を促すビオチンやコラーゲントリペプチド、動脈硬化を防ぐためのビタミンB群などを多く含んでいる。